

③ 生徒が自らの進路に対する希望や考えを深めたり、視野を広げたりできるように展開の仕方を工夫する。

④ 進路に対する自己の考えを整理して深められるよう、開発ソフトウェアをワークシート等他のメディアと有機的に関連づけて利用する。

(2) 授業の実際

① 第1学年での活用



ア 授業案

- 1 題材名「働く人たちの仕事と考え」
- 2 授業者 大熊中学校教諭 今野 裕三
- 3 対象学級 第1学年1組
- 4 本時のねらい

様々な職業で働く人たちの仕事への取り組みや考えに多くふれさせ、職業や働くことに対する関心や理解を深めさせるとともに、職業インタビュー等の体験活動の大切さに気付かせる。

5 本時の授業とコンピュータ活用との関連

(1) コンピュータ活用の意図

本時のねらいに迫るために、開発ソフトの特性を生かし、主に様々な職業で働く人々の姿や考えに多くふれさせることができるように配慮してコンピュータの活用を図りたい。

(2) コンピュータ活用の形態

班単位での活用形態を中心とし、コンピュータの活用に当たっては順番で操作できるようにするなど、できる限り生徒全員がコンピュータ操作にかかわれるように配慮する。

(3) 他のメディアとの組み合わせ

ワークシートを併用することにより、個別に活動の内容を整理したりまとめたりできるように配慮しながらコンピュータを活用する。

(4) 設置場所・設置台数・設置形態

<場所> 図書室 <台数> 8台

<形態>

指導者用：プロジェクターにより一斉提示できるように設置する。

生徒用：ノート型パソコンを班単位で活用できるように配置する。また生徒が自由に使えるパソコンも可能な限り設置する。

6 指導計画

(1) 事前指導

- ・ 身近に働く人々が、どのような職業に就いているか調べておくように指導する。
- ・ 自分が将来就いてみたい、または、興味・関心のある職業について考えさせる。

(2) 本時の指導過程

活 動	活 動 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 学習のめあてをつかむ。	○ 調べてきた職業について発表する。	○ 2～3名の生徒に発表させ、本時の学習への関心を高めたい。
2 本時の学習活動について確認する。	○ 活動のあらましを知る。 ○ コンピュータの操作方法について知る。	○ 活動の内容、方法、手順等をしっかり確認させたい。 ○ 操作への不安をなくし、活動意欲を高めたい。
3 様々な職業について調べる。	○ 班ごとに様々な職業で働く人たちの仕事の様子や考えについてコンピュータを使って調べる。	○ 順番を決めるなど、みんなで操作できるように配慮する。 ○ 出来るだけ幅広い職業にふれさせたい。
4 活動を振り返り整理する。	○ 調べた内容や活動を通して感じたことをワークシートに記入し、整理する。	○ 活動を通しての自分の変容などに気付かせたい。 ○ 素直な感動を大切にしたい。